



発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市粕壁東
6丁目7-12
電話 748-5159
FAX 748-5179

人間にファーストもセカンドもない 差別や排除のない社会を

「日本人ファースト」を掲げたり、「税金は日本人のために使え」「外国人の受け入れ反対」を主張する政党や政治家が増える中、インターネットを中心に「外国人は生活保護が受けやすい」「外国人が増えると治安が悪くなる」など、外国人を敵視する論調が広がっています。

外国人の生活保護
わずか1・4%

人間にファーストもセカンドもありません。

根拠のないデマで外国人を差別したり排除する考え方は、人間を人間として大切にすること、外国人だけでなく「みんなと違う」など、少数者や立場の弱い人の人権もないがしろにする危険な考え方です。

「生活保護で暮らす外国人が増えて日本人が受けづらくなっている」などという人がいますが、事実に基づかない全くのデマです。

下表のとおり、春日部市内で暮らす外国人は急増しています。しかし、生活保護で暮

らしているのはほんのわずかで「永住者」「定住者」に限られ、外国人にはセイフティネットもないのが現状です。

春日部市内でも建設現場や介護施設、飲食店、コンビニエンスストアで働く外国人が増え、ともに社会を支えています。言葉の壁を理由に差別され、無権利、低賃金で働かざるを得ない事例が少なくありません。

	2023年	2024年	2025年
市内総人口	231293人	230380人	229367人
そのうち外国人	5083人 (2.1%)	5773人 (2.5%)	6616人 (2.9%)
生活保護 受給世帯	2875世帯	2918世帯	2961世帯
そのうち外国人	33世帯 (1.1%)	41世帯 (1.4%)	43世帯 (1.4%)

差別・排除ではなく、人間として大切にされる社会の実現こそ政治の責任です。

人権尊重・多文化 共生社会の実現を

日本共産党は、いかなる差別も許さず、日本国憲法に立脚し、外国人の人権を守り、地域で共生するために、以下の政策の実現を目指します。

- 外国人労働者に対する人権侵害をやめ、人間らしく生きられるために、入管法の抜本的改正を求めます。
- 深刻な人権侵害が浮き彫りになっている「技能実習生」制度は、廃止を含め抜本的に見直します。
- 地域で円滑な日常生活を送るために、日本語教育の充実を図ります。
- 生活全般にかかる相談を一元的に受け入れるワンストップセンターの整備を進めます。

〈生活相談は日本共産党へ〉

並木としえ TEL 090 (3916) 0168 大野とし子 TEL 090 (7843) 4945

今尾やすのり TEL 090 (1032) 4833 木下みえ子 TEL 050 (3559) 1640

日本共産党市議団ホームページ <https://www.jcp-kasukabe.jp/>



女の価値を産む、 産まないで決めるな！

「参政党代表が「高齢の女性には子どもが産めない」と発言し、高校や大学卒業後に仕事につかずに子育てに専念しやすくなるよう給付金をと訴えました。不妊に悩む人や産む産まないの権利を無視した暴言です。」

この発言に抗議し「#女の価値を産む産まないで決めるな」緊急アクションが



全国各地で急速に広がっています。

7月12日、新日本婦人の会春日部支部は、コープみらいかすかべ東店前で緊急アクションに取り組みました。この取り組みに日本共産党並木としえ・木下みえ子両市議も参加しました。

訂正しない

1ミリも引かない

参政党代表の発言には「女性を人格ある個人として尊重するのではなく、子どもを産む国家の道具として扱っている」「『金をやるから子どもを産み育てよ』と言わんばかりの発言。固定的な役割分担意識に満ちていて恐怖すら覚える」

「50歳代で子どもがいない私たち夫婦は社会に存在する意味がないのか」と怒りの声が広がっています。

一方、参政党代表はこうした批判に対して「訂正もしないし、1ミリも引かない」「男は男らしく、女は女らしくでいい」「ジェンダーギャップ指数が日本は低いらしい。そんなこと知ったことか」と言い放ち、開き直っています。「女性の役割は出産・育児」と固定化するもので、個人の人権をないがしろにする差別発言にはなりません。

ジェンダー平等

社会実現を

春日部での緊急アクションでも「#女の価値を産む産まないで決めるな」「私の人生は私が決める」「少子化を女のせいにするな」

「女性は産む機械じゃない」

などのプラカードを掲げ、参加した女性たちが次々とマイクを握りました。「女性が自分らしく生きること」を保障するのが政治の役割」「産めよ増やせよという戦前のような時代錯誤の発言で、女性に人権がなかった時代に逆戻りさせようとしているように感じて怖い。そんなことは絶対に許さない」「産む産まないは私たちが自身が決める」と訴えました。

日本共産党はジェンダー平等社会の実現をめざします

●男女賃金格差の是正

●家族的責任と働くことを両立できる労働のルールづくり

●ハラスメントの根絶

●選択的夫婦別姓、LGBT平等法を実現し、多様性が尊重される社会に

休日の当番医

市立医療センター TEL735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119

7/20(日)守田内科医院(内科系)南2-6-24TEL737-6300 浜崎医院(小児科系)

備後西3-8-57TEL745-6000 ようこ皮フ科(外科系)大沼2-62-24TEL612-3555

7/27(日)春日部中央総合病院(内科系見取町5-9-4TEL736-1221 春日部在宅診療所ウエルネス(小児科系)内牧3701-1TEL792-0772 梅原病院(外科系)小淵455-1TEL754-2152